



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東  
 コード番号 4301 URL <https://www.amuse.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 大里 洋吉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 鈴木 啓太 E-MAIL amuseir@amuse.co.jp  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月21日 配当支払開始予定日 2026年6月22日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	69,655	2.2	6,123	118.8	6,225	110.1	2,695	63.5
2025年3月期	68,186	24.4	2,798	104.6	2,963	66.7	1,648	320.9

(注) 包括利益 2026年3月期 3,337百万円 (66.1%) 2025年3月期 2,009百万円 (532.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収入 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	166.06	—	7.6	10.1	8.8
2025年3月期	99.27	—	4.8	4.9	4.1

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 78百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	62,499	38,785	57.7	2,224.11
2025年3月期	60,841	37,120	56.6	2,074.31

(参考) 自己資本 2026年3月期 36,064百万円 2025年3月期 34,454百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	6,835	△6,255	△1,828	26,313
2025年3月期	433	△611	△2,059	27,466

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	678	40.3	2.0
2026年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	666	24.1	1.9
2027年3月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00		83.0	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	△21.0	2,000	△67.3	2,100	△66.3	1,250	△53.6	77.09

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期	18,623,520株	2025年3月期	18,623,520株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期	2,408,265株	2025年3月期	2,013,447株
----------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2026年3月期	16,232,127株	2025年3月期	16,603,068株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式 (2026年3月期588,880株、2025年3月期356,150株) が含まれております。

また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2026年3月期360,559株、2025年3月期363,175株)。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	44,249	20.7	3,054	665.1	3,397	12.3	1,063	△67.9
2025年3月期	36,655	8.0	399	—	3,026	—	3,312	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	65.51	—
2025年3月期	199.53	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	42,999	28,477	66.2	1,756.22
2025年3月期	45,158	28,566	63.3	1,719.83

(参考) 自己資本 2026年3月期 28,477百万円 2025年3月期 28,566百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

1. 決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイト同日公開しております。

2. 当社は、2026年5月21日 (木) に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会にて使用する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	13
(1株当たり情報の注記) .....	14
(重要な後発事象の注記) .....	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	増減	増減率 (%)
営 業 収 入	68,186	69,655	1,469	2.2
営 業 利 益	2,798	6,123	3,324	118.8
経 常 利 益	2,963	6,225	3,262	110.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,648	2,695	1,047	63.5

〔連結経営成績の分析〕

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しているとみられるものの、米国関税政策の影響や直近の中東情勢の影響等により、不確実性の高い環境下で推移しました。景気の先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、中東情勢の影響を注視する必要があると考えられます。また、金融資本市場の変動や米国の通商政策をめぐる動向等に注意する必要があると考えられます。

このような状況の中、当連結会計年度における当社グループの業績は以下となりました。

営業収入につきましては、前連結会計年度において連結子会社でありました㈱A-S k e t c hの全保有株式を譲渡したことに伴う同社の連結除外の影響や前期に開催されたSEKAI NO OWARI ARENA TOUR 2024「深海」等の大型コンサートツアーの開催の反動減等の影響があったものの、主にサザンオールスターズLIVE TOUR 2025「THANK YOU SO MUCH!!」や星野源「Gen Hoshino presents MAD HOPE」等の大型コンサートツアー、ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」の開催等によりイベント収入が大幅に増加したこと、サザンオールスターズや星野源等のコンサートツアーグッズに加えてグループ外のアーティスト等に係るグッズ・商品収入が増加したこと、㈱極東テレビ台において番組制作収入が増加したこと及び映画「国宝」を始めとする劇場配給収入等の分配金の収益計上があったこと等の要因により営業収入は前期比で増収となりました。

営業利益につきましては、上記の大型コンサートツアー案件等に係る制作経費の計上やグッズ・商品に係る製造コストの増加、㈱極東テレビ台における番組制作原価の増加等があったものの、上記の増収の影響に加えて㈱A-S k e t c hの連結除外や経費コントロールの実施等により営業費用が前期比で減少したことにより営業利益は前期比で大幅な増益となりました。

経常利益につきましては、上記の㈱A-S k e t c hの連結除外に伴い同社の関連会社であった㈱MA S H A & Rを持分法適用の範囲から除外したことが減益要因となったものの、上記の営業利益の大幅な増益の影響により前期比で大幅な増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2026年5月より当社山梨本社にてホテル事業を開始することに伴い固定資産に係る減損損失を計上したものの、上記の増益要因に加えて保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益や上記の㈱A-S k e t c h株式譲渡契約に起因する条件付対価受入益等の計上及び前期における事業構造改革費用等の特別損失の計上の反動による増益に法人税等の計上を加味した結果、こちらも前期比で増益となりました。

上記の結果、当連結会計年度における当社グループの経営成績は営業収入696億5千5百万円（前期比2.2%増）、営業利益61億2千3百万円（前期比118.8%増）、経常利益62億2千5百万円（前期比110.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益26億9千5百万円（前期比63.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

**〔営業収入〕**

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	42,055	43,830	1,775	4.2
音楽・映像事業	19,747	18,624	△1,122	△5.7
出演・CM事業	6,383	7,200	817	12.8
合計	68,186	69,655	1,469	2.2

**〔セグメント利益〕**

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	846	3,199	2,353	277.9
音楽・映像事業	1,503	1,902	399	26.6
出演・CM事業	448	1,021	572	127.7
合計	2,798	6,123	3,324	118.8

**〔イベント関連事業〕**

当該セグメントにおきましては、主に前期に開催されたSEKAI NO OWARI ARENA TOUR 2024「深海」等の大型コンサートツアーの反動減の影響があったものの、2025年1月～5月に開催されたサザンオールスターズLIVE TOUR 2025「THANK YOU SO MUCH!!」や星野源「Gen Hoshino presents MAD HOPE」等の大型コンサートツアー、ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」の開催等によるイベント収入の大幅な増加及びサザンオールスターズや星野源等のコンサートツアーグッズに加えてグループ外のアーティスト等に対するグッズ・商品収入の増加が営業収入を大きく牽引した結果、前期比で増収となりました。セグメント利益につきましては、上記の大型イベント案件に係る制作費用の計上及びグッズ・商品の製造コスト等の増加があったものの、上記の増収の影響がそれを大きく上回ったことにより、前期比で大幅な増益となりました。

上記の結果、営業収入は438億3千万円（前期比4.2%増）、セグメント利益は31億9千9百万円（前期比277.9%増）となりました。

**〔音楽・映像事業〕**

当該セグメントにおきましては、主に㈱極東テレビ台の番組制作収入の増加及び映画「国宝」を始めとする劇場配給収入等の分配金の収益計上等により映像収入は増収となったものの、㈱A-S k e t c hの連結除外等により音楽収入が大幅な減収となった結果、前期比で減収となりました。

セグメント利益につきましては、上記の㈱A-S k e t c hの連結除外等が減益要因となったものの、㈱極東テレビ台における増益の影響及びサザンオールスターズ関連の印税収入の増加、映画「国宝」を始めとする劇場配給収入等の分配金の収益計上等の影響により、前期比で増益となりました。

上記の結果、営業収入は186億2千4百万円（前期比5.7%減）、セグメント利益は19億2百万円（前期比26.6%増）となりました。

**〔出演・CM事業〕**

当該セグメントにおきましては、主に福山雅治、大泉洋、吉高由里子、吉沢亮、堀田真由、清原果耶等に係るCM収入の増加及び㈱アミューズコミュニケーションデザイン企業広告制作収入の増加等により前期比で増収増益となりました。

上記の結果、営業収入は72億円（前期比12.8%増）、セグメント利益は10億2千1百万円（前期比127.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

〔連結財政状態〕

	前連結会計年度 2025年3月期	当連結会計年度 2026年3月期	増減額
総資産 (百万円)	60,841	62,499	1,658
純資産 (百万円)	37,120	38,785	1,664
自己資本比率 (%)	56.6	57.7	1.1
1株当たり純資産 (円)	2,074.31	2,224.11	149.80

〔連結財政状態の分析〕

当連結会計年度末の総資産は624億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億5千8百万円増加しました。これは主に現金及び預金が11億2千4百万円、受取手形及び営業未収入金が20億6百万円、減損損失の計上に伴い有形固定資産が8億6千万円減少したものの、有価証券が43億7千1百万円、仕掛品が6億5千3百万円、投資有価証券が6億8千3百万円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の負債は237億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少しました。これは主に契約負債が3億4千8百万円、預り金等の減少に起因する流動負債の「その他」が6億6千8百万円減少したものの、営業未払金が4億8千3百万円、未払法人税等が4億1千万円、賞与引当金が2億5千3百万円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の純資産は387億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億6千4百万円増加しました。これは主に2025年5月に実施した自己株式の買付等により自己株式が8億2千万円増加したものの、自己株式処分差益の計上等により資本剰余金が1億8千9百万円、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が20億2千5百万円増加するとともに保有株式の時価評価額の増加によりその他有価証券評価差額金が1億4千万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は57.7%（前期末は56.6%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

〔連結キャッシュ・フロー〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2025年3月期	当連結会計年度 2026年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	433	6,835	6,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	△611	△6,255	△5,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,059	△1,828	231
現金及び現金同等物の期末残高	27,466	26,313	△1,152

〔連結キャッシュ・フローの分析〕

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ11億5千2百万円減少し、当連結会計年度末には263億1千3百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は68億3千5百万円（前期は4億3千3百万円の獲得）となりました。

これは、主に法人税等の支払額14億1千7百万円等があったものの、税金等調整前当期純利益の計上48億3千万円、減損損失の計上15億1千4百万円、営業債権の減少額20億6千8百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は62億5千5百万円（前期は6億1千1百万円の使用）となりました。

これは、主に有価証券の売却による収入5億4千2百万円等があったもの、有価証券の取得による支出49億7百万円、有形固定資産の取得による支出9億4千万円、無形固定資産の取得による支出1億7千5百万円、関係会社株式の取得による支出3億7千1百万円及び出資金の払込による支出2億4千5百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は18億2千8百万円（前期は20億5千9百万円の使用）となりました。

これは、主に自己株式の取得による支出7億円、配当金の支払額6億6千9百万円及び非支配株主への払戻による支出3億1千3百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当連結会計年度については、㈱A-Sketchの全保有株式を譲渡したことに伴う同社の連結除外の影響があったものの、サザンオールスターズや福山雅治、星野源、Perfume、IVE等の大型コンサートツアー及びコンサートグッズによる売上の増加や㈱極東テレビ台等の増収により営業収入は増収となりました。

また、増収となったことで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はともに増益となりました。

翌連結会計年度については、大型コンサートや舞台公演等の反動減に伴い、営業収入は減収となり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても減益の見通しとなっております。

以上を踏まえた当社グループの次期の業績見通しは、営業収入550億円（前期比21.0%減）、営業利益20億円（前期比67.3%減）、経常利益21億円（前期比66.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益12億5千万円（前期比53.6%減）を計画しております。

アーティストの才能開発、オリジナル作品やコンテンツの開発、テクノロジーを起点としたサービス開発を通じて、中長期的な収益力の向上に努めてまいります。

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	翌連結会計年度 (自 2026年4月1日 至 2027年3月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	69,655	55,000	△14,655	△21.0
営業利益	6,123	2,000	△4,123	△67.3
経常利益	6,225	2,100	△4,125	△66.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,695	1,250	△1,445	△53.6

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,793	26,669
受取手形及び営業未収入金	12,064	10,057
有価証券	555	4,927
商品及び製品	1,172	1,085
仕掛品	2,489	3,143
原材料及び貯蔵品	100	70
未収入金	2,554	2,243
その他	1,278	1,294
貸倒引当金	△54	△21
流動資産合計	47,953	49,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,101	3,121
土地	875	800
その他（純額）	831	1,025
有形固定資産合計	5,808	4,947
無形固定資産		
のれん	389	329
その他	561	523
無形固定資産合計	950	853
投資その他の資産		
投資有価証券	4,071	4,754
繰延税金資産	1,102	1,193
その他	954	1,280
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,128	7,228
固定資産合計	12,887	13,029
資産合計	60,841	62,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	12,004	12,488
1年内返済予定の長期借入金	45	34
1年内償還予定の社債	30	20
未払法人税等	989	1,399
契約負債	3,665	3,317
賞与引当金	229	483
役員賞与引当金	44	36
従業員株式給付引当金	33	30
その他	5,073	4,405
流動負債合計	22,116	22,215
固定負債		
社債	60	40
長期借入金	146	111
役員株式給付引当金	128	93
退職給付に係る負債	1,216	1,202
その他	51	50
固定負債合計	1,603	1,498
負債合計	23,720	23,714
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,284	2,474
利益剰余金	32,548	34,573
自己株式	△2,841	△3,662
株主資本合計	33,579	34,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476	616
為替換算調整勘定	315	373
退職給付に係る調整累計額	83	100
その他の包括利益累計額合計	875	1,090
非支配株主持分	2,666	2,720
純資産合計	37,120	38,785
負債純資産合計	60,841	62,499

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業収入	68,186	69,655
営業原価	58,853	58,117
営業総利益	9,332	11,537
販売費及び一般管理費	6,534	5,414
営業利益	2,798	6,123
営業外収益		
受取利息及び配当金	33	81
持分法による投資利益	78	—
為替差益	—	29
その他	95	53
営業外収益合計	207	164
営業外費用		
支払利息	5	2
為替差損	6	—
事業組合投資損失	27	54
その他	4	5
営業外費用合計	43	62
経常利益	2,963	6,225
特別利益		
固定資産売却益	6	2
投資有価証券売却益	—	76
関係会社株式売却益	1,951	—
有価証券売却益	—	16
条件付対価受入益	—	66
特別利益合計	1,958	161
特別損失		
投資有価証券評価損	326	1
関係会社株式評価損	200	—
減損損失	—	1,514
事業構造改革費用	1,229	—
その他	3	40
特別損失合計	1,760	1,557
税金等調整前当期純利益	3,160	4,830
法人税、住民税及び事業税	1,170	1,873
法人税等調整額	△74	△165
法人税等合計	1,095	1,707
当期純利益	2,065	3,122
非支配株主に帰属する当期純利益	417	427
親会社株主に帰属する当期純利益	1,648	2,695

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	2,065	3,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107	140
為替換算調整勘定	46	57
退職給付に係る調整額	5	16
その他の包括利益合計	△55	215
包括利益	2,009	3,337
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,592	2,910
非支配株主に係る包括利益	417	427

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587	2,284	31,578	△2,858	32,593
当期変動額					
剰余金の配当			△678		△678
親会社株主に帰属する当期純利益			1,648		1,648
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				16	16
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	969	16	985
当期末残高	1,587	2,284	32,548	△2,841	33,579

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	583	269	77	931	3,975	37,500
当期変動額						
剰余金の配当						△678
親会社株主に帰属する当期純利益						1,648
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						16
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△107	46	5	△55	△1,309	△1,365
当期変動額合計	△107	46	5	△55	△1,309	△379
当期末残高	476	315	83	875	2,666	37,120

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587	2,284	32,548	△2,841	33,579
当期変動額					
剰余金の配当			△670		△670
親会社株主に帰属する当期純利益			2,695		2,695
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△8			△8
自己株式の取得				△1,261	△1,261
自己株式の処分		197		441	639
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	189	2,025	△820	1,394
当期末残高	1,587	2,474	34,573	△3,662	34,973

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	476	315	83	875	2,666	37,120
当期変動額						
剰余金の配当						△670
親会社株主に帰属する当期純利益						2,695
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△8
自己株式の取得						△1,261
自己株式の処分						639
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	140	57	16	215	54	270
当期変動額合計	140	57	16	215	54	1,664
当期末残高	616	373	100	1,090	2,720	38,785

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,160	4,830
減価償却費	606	677
のれん償却額	59	59
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△96	△33
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	40	△8
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	20	42
従業員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	19	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△194	9
受取利息及び受取配当金	△33	△81
持分法による投資損益 (△は益)	△78	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△76
投資有価証券評価損益 (△は益)	326	1
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,951	—
関係会社株式評価損	200	—
減損損失	—	1,514
営業債権の増減額 (△は増加)	△2,450	2,068
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,184	△505
営業債務の増減額 (△は減少)	△1,127	409
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△274	691
未収入金の増減額 (△は増加)	△735	309
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△141	△201
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	3,478	△938
その他	1,041	△664
<b>小計</b>	<b>687</b>	<b>8,105</b>
利息及び配当金の受取額	191	80
利息の支払額	△5	△2
法人税等の還付額	116	68
法人税等の支払額	△556	△1,417
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>433</b>	<b>6,835</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△409	△167
定期預金の払戻による収入	885	139
有価証券の取得による支出	△530	△4,907
有価証券の売却による収入	—	542
有形固定資産の取得による支出	△2,200	△940
無形固定資産の取得による支出	△225	△175
敷金及び保証金の差入による支出	△30	△114
敷金及び保証金の回収による収入	140	1
関係会社株式の取得による支出	—	△371
関係会社株式の売却による収入	49	—
投資有価証券の取得による支出	△559	△111
投資有価証券の売却による収入	—	78
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2,147	—
出資金の払込による支出	—	△245
貸付金の回収による収入	89	66
その他	31	△49
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△611</b>	<b>△6,255</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△53	△45
社債の償還による支出	△40	△30
自己株式の取得による支出	△0	△700
自己株式の売却による収入	16	0
配当金の支払額	△678	△669
非支配株主への配当金の支払額	△1,298	△66
非支配株主への払戻による支出	—	△313
その他	△5	△1
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,059</b>	<b>△1,828</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	95
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,225	△1,152
現金及び現金同等物の期首残高	29,692	27,466
現金及び現金同等物の期末残高	27,466	26,313

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループはコンテンツを生み出すアーティストを発掘・育成し、彼等に様々な形での創作活動を行う機会と場所を提供し、支援することでコンテンツを創出するとともに、外部の優良なコンテンツを探し出しております。

そしてそのコンテンツをより多く保有し、有効に活用して事業展開することを基本方針としております。その事業の内容に応じて、「イベント関連事業」「音楽・映像事業」「出演・CM事業」として分類しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収入又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	26,539	—	—	26,539	—	26,539
ファンクラブ・商品売上収入	15,516	—	—	15,516	—	15,516
音楽収入	—	8,635	—	8,635	—	8,635
映像収入	—	10,455	—	10,455	—	10,455
その他音楽・映像収入	—	657	—	657	—	657
出演・CM収入	—	—	6,383	6,383	—	6,383
顧客との契約から生じる収益	42,055	19,747	6,383	68,186	—	68,186
外部顧客への営業収入	42,055	19,747	6,383	68,186	—	68,186
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	849	122	22	994	△994	—
計	42,904	19,870	6,406	69,180	△994	68,186
セグメント利益	846	1,503	448	2,798	—	2,798
その他の項目						
減価償却費	424	128	54	606	—	606

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. 当社グループでは、資産及び負債を報告セグメント別に配分していないため、セグメント資産及びセグメント負債の記載は省略しております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	25,010	—	—	25,010	—	25,010
ファンクラブ・商品売上収入	18,819	—	—	18,819	—	18,819
音楽収入	—	6,329	—	6,329	—	6,329
映像収入	—	12,155	—	12,155	—	12,155
その他音楽・映像収入	—	140	—	140	—	140
出演・CM収入	—	—	7,200	7,200	—	7,200
顧客との契約から生じる収益	43,830	18,624	7,200	69,655	—	69,655
外部顧客への営業収入	43,830	18,624	7,200	69,655	—	69,655
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	593	105	108	806	△806	—
計	44,423	18,730	7,308	70,462	△806	69,655
セグメント利益	3,199	1,902	1,021	6,123	—	6,123
その他の項目						
減価償却費	505	119	51	677	—	677

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. 当社グループでは、資産及び負債を報告セグメント別に配分していないため、セグメント資産及びセグメント負債の記載は省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額 (円)	2,074.31	2,224.11
1株当たり当期純利益 (円)	99.27	166.06

(注) 1. 「1株当たり純資産額」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております (前連結会計年度356,150株、当連結会計年度588,880株)。

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (前連結会計年度363,175株、当連結会計年度360,559株)。

3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,648	2,695
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益 (百万円)	1,648	2,695
期中平均株式数 (株)	16,603,068	16,232,127

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。